

第1回 JUDI パブリックデザイン賞

■ 開催趣旨・選考結果

■ 受賞作品



JAPAN URBAN DESIGN INSTITUTE

開催趣旨・選考結果

1. 趣旨

都市環境デザイン会議（JUDI）は、2010年をもって設立20周年を迎え、1993年から始まったモニターメッセも19回を数えます。その間に発表された製品等は250例余り、参加企業数も70社近くに上ります。

この間に発表された製品の中には、今日都市環境デザイン製品のスタンダードとなったものも少なくありません。また、JUDI会員の作品も数多く整備されてきました。しかし、都市デザインや景観に対する社会的な関心が高まる一方で、社会や経済環境の変化に伴い、国や自治体のまちづくりや景観事業も減少し、関連する製品メーカー、施工業者も厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に貢献している企業・団体等の活躍を社会に広め、もってその取組みを支援することを目的に、その活動や実績を顕彰する「JUDIパブリックデザイン賞」を創設することとしました。

2. 表彰対象

① 都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に寄与した以下のものとします。なお、表彰対象はあくまでも「製品」、「空間」であり、設計者、施工者、製造者等を対象とするものではありません。

- 1) 製品部門：舗装、照明、柵、緑化、ストリートファニチャー等の製品（既製品、標準品、特注品等）
- 2) 空間部門：ポケットパーク、歩車道、施設内空地等の空間

② 表彰の対象は施工事例があるものに限定します。

③ JUDIパブリックデザイン賞は、製品部門から「製品賞」、空間部門から「空間賞」を授与します。

この内、特に都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に多大な貢献をしたと評価されるものを「大賞」とします。

この製品賞、空間賞の他に、各ブロックの地域性や魅力を引き出したものについて「ブロック賞」を授与することとしました。また、社会的意味の高いもの、今後の展開が期待できるもの等について、必要に応じて選考委員が認めたものを「審査委員特別賞」として顕彰することとしました。

3. 選考方法

パブリックデザイン賞の選考は、事業委員会の中に「選考委員会」を設けて行いました。選考委員は、

JUDIメンバーの中から建築、土木、造園、パブリックデザイン等の専門家に依頼し、選考会議における討議によって各賞を選定しました。

- ・ 募集期間：平成23年1月～平成23年7月
- ・ パブリックデザイン賞選考会議：平成23年9月17日
選考委員長：横川 昇二（事業委員長）
選考委員：中野 恒明（芝浦工業大学）
天野 光一（日本大学）
中村 伸之（㈲ランドデザイン）



4. 選考結果・講評

■大賞・製品部門

●Luminascape（ルミナスケープ）シリーズ

応募者：パナソニック(株)／須藤 和哉・伊藤 雅昭
シリーズ製品としての全体的なシステムデザインに優れていることに加えて、時代の要請にあわせてLED化するなど成長してきた製品群であることを高く評価して大賞とした。今後、アジア市場への展開可能性も感じさせる。

■大賞・空間部門

●馬車道ガーデンストリート計画

応募者：(株)高橋建築都市デザイン事務所／幸地 俊一
馬車道は横浜の都市デザインの先駆的事例である。その経年劣化したストリートファニチャーについて、古いものを尊重しながら新しくリニューアルするモデル的なデザインのあり方を示したことを高く評価して大賞とした。古典的デザインではあるが、消費されないデザインとしての価値を有する。

■製品賞

●TMS型ガードパイプ

応募者：神鋼建材工業(株)／鈴木 幸裕

景観に配慮した道路用の汎用品防護柵として最もスタンダードな製品となった。全国的に広く普及しており、道路景観の向上に寄与していることを評価して製品賞とした。

●景観に配慮したアルミニウム合金製橋梁用

ビーム型防護柵アスレール

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング／富岡 仁計

景観に配慮した橋梁用のアルミニウム合金製の汎用品防護柵として、従来製品と一線を画す製品である。全国的に普及が進んでおり、道路景観の向上に寄与していることを評価して製品賞とした。

●フォルメス（バスシェルター）

応募者：三協立山アルミ(株)／山谷 清

すべてをアルミニウムで構成したバスシェルターであり、素材へのこだわりがひとつの完成された製品であるとともに、メンテナンスの軽減を図ったことを評価して製品賞とした。

■空間賞

●アルカディア21住宅街区

応募者：(株)現代計画研究所／菊田 純一

街路と住宅外構とが一体的にデザインされている先駆的で数少ない事例である。巧みな高低差処理や街区中央への共有地配置など、全体的なデザインレベルが高いことを評価して空間賞とした。

●富山市 市内電車環状線

応募者：(株)GK設計／上田 孝明

交通を軸に新しい都市のあり方を再編成する試みとして、パブリックデザインとしてLRTのシステムを位置づけた取組みを評価して空間賞とした。今後の沿線の街並みへの波及効果に期待したい。

●博多駅博多口駅前広場

応募者：(株)アービカルネット／新田 裕司

完成直後であり、評価は難しいとの意見もあったが、大きな建築物に対するスケールや素材の使い方が優れていることから空間賞とした。

■ブロック賞

●東京地下鉄のサインシステム

応募者：アール・イー・アイ(株)／中村 豊四郎

錯綜する東京メトロ駅構内をわかりやすく案内する優れたシステムデザインの公共サインとして評価できることから、ブロック賞とした。

●渡名喜島 村道1号フットライト

応募者：琉球ブロック／木下 能里子

簡素ではあるが、場所の雰囲気をよく引き出しており、地域性が感じられる点が評価できることからブロック賞とした。

●小松駅前西口・東口広場

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング／鈴木 稔

雪吊りのイメージを駅前広場のシンボリック施設の意匠に反映した事例である。駅前広場としての意匠の必然性が議論されたが、地域性を空間のシンボルとして生かそうという試みが一定レベルで成功している点が評価できることから、ブロック賞とした。

■審査員特別賞

●Crystal（クリスタル）

応募者：TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE／諫元 大輔

アート作品としてみるか、パブリックデザイン製品としてみるか、議論が分かれた製品であるが、今後の展開を期待して審査員特別賞とした。

●耐震地下駐輪場エコサイクル

応募者：(株)技研製作所／水戸部 正智・武内 隆政

不法駐輪を整理できる点で社会的に意味があるという意見と、ハードだけで解決する方向は今の時代に合わないのではという意見があったが、場所によってはきわめて有効な駐輪解決方法であるという点を評価して審査員特別賞とした。

●軽井沢レイクガーデン

応募者：(有)ユー・プラネット／栗原 裕

ひとつの空間を幾つもの空間として認識させる空間デザインや細やかなガーデンデザインなど、デザイン的に優れていることが評価された。しかし、有料施設であることがパブリックデザイン賞の対象となり得るかが議論となり、審査員特別賞とした。

大賞・製品部門

Luminascape (ルミナスケープ) シリーズ

応募者：パナソニック(株)



Luminascapeはランドスケープデザインの新しい潮流に対応できるように、あかりの表現を全面に打ち出したモールライトのシリーズである。商品構成は“夜の光”と“昼のデザイン”を最適な組合せで、幅広く展開した。各パートシリーズ毎に、お勧めの空間を想定し、場の魅力を引き出す様々な配慮に基づいてデザインしている。

屋外景観照明器具が持つ二つの姿、夜の景と昼の景。この両面の在り方について徹底して追求するために、

- ①生活シーンを創造する光の表現へのこだわり
- ②場の個性を活かす多彩なデザイン構成へのこだわり
- ③周辺環境との調和へのこだわり

の3ポイントにこだわって商品開発を進めている。

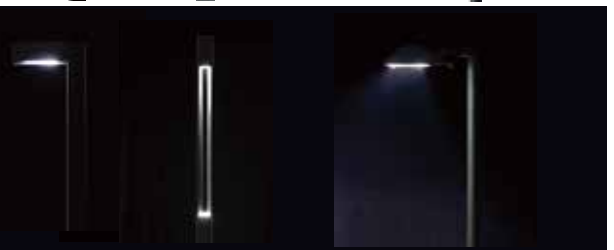
ROND / ロンド



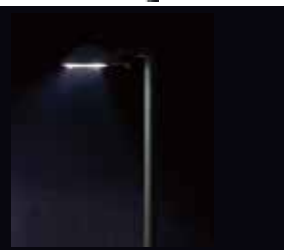
LEBITA / レビータ



LIGNES / リグネス



MOBILIA / モビリア



VERDES / ベルデス



FINEE / フィーネ



LED使用



大賞・空間部門

馬車道ガーデンストリート計画

応募者：(株)高橋建築都市デザイン事務所

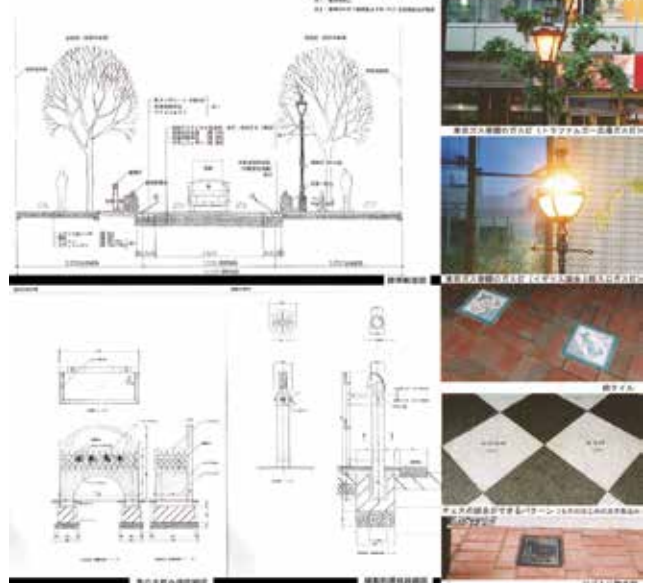
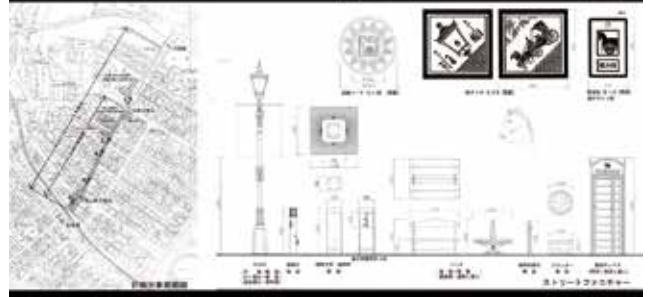


横浜の馬車道メイン通りは吉田橋から本町通までの約500m。開港時多くの西洋文明が移入し、馬車道には「かねの橋」のほか「乗合馬車」「アイスクリーム*」「瓦斯灯」「写真館*」「近代街路樹*」「日刊新聞」等の「もののはじめ」がある。（*印；モニュメントあり）

横浜市で始動した都市デザイン行政実践の中で、1976年完成のわが国初の既存街路をセミモール化した馬車道計画。その後、一連の吉田橋復元、馬車道広場（1978年）。四半世紀経ち馬車道整備第2期「馬車道ガーデンストリート（2003年）」を設計した。

道路、公園、広場、橋など土木やランドスケープ、ストリートファニチャーやパブリックアートのプロダクトデザインに関わり景観整備と歩行者空間の整備に力点を置いて総合的な仕事を続けてきた。

第1期から四半世紀を経てリニューアルしたもので、馬車道の方々、行政の人達と4年の歳月をかけソフトを研究。歴史、景観、地球環境保全とユニバーサルデザインを心がけ「ガーデンストリート」を指針とした。



製品賞

TMS型ガードパイプ

応募者：神鋼建材工業(株)



1997年、旧建設省東北地方建設局が主体となって開発した車両用防護柵。(株)エムアンドエムデザイン事務所・大野美代子氏の基本デザインは、これまでの車両用防護柵の波板のガードレールとは異なり、車両側、歩道側からみた表現があり、パイプ状で形成されている。

神鋼建材工業(株)では、いかに基本デザインに近づけることができるか、人に優しい形状である事、且つ道路勾配・曲線に自在に対応できる施工性とコスト低減の構造を提案した。



景観に配慮したアルミニウム合金製橋梁用 ビーム型防護柵アスレール

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング



「美しい国づくり政策大綱」を契機として、道路景観全体の向上を目指すことを目的に「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」がまとめられた。このガイドラインで掲げられた流れを受け、アルミニウム合金特有の押出材による自由な形状や編肉断面を駆使し、高品質で汎用性が高く、軽量で安価な標準防護柵の開発を目指した。その結果、従来製品比約20%の軽量化に成功し、スマートで様々なシーンに溶け込む標準製品とすることができた。



フォルメス (バスシェルター)

応募者：三協立山アルミ(株)



この製品は、川崎駅西口前に設けられたバスシェルターとして開発された。停留所としての機能性確保とともに、川崎市がめざす「まちづくりコンセプト」や「景観形成方針」等をふまえ、周辺との調和に配慮することを基本としている。

コーナー部のユニット化や、部材縮小・高剛性化のためのトラス構造・アルミ剛接合等の技術を組み合わせながらシンプルなデザインに仕上げ、より周辺環境に対応しやすく、より汎用性の高い製品「フォルメス」として完成させた。



空間賞

アルカディア 21 住宅街区

応募者：(株)現代計画研究所



1988年に、兵庫県、神戸三田・国際公園都市において開催された「北摂・丹波の祭典—21世紀公園都市博覧会」における展示企画「21世紀住宅展」は、来るべき21世紀に求められる住環境のあり方、まちづくりや家づくりの手法を実物展示したもので、博覧会后、一般に分譲されたものである。

道路と民地の擁壁、アルコーブ状のアプローチの前庭、共有の公園の低い擁壁、広場のすべてが、平面的にも立体的にも曲線状に連続し、厚さ100mmの桜御影石で構成され、敷地の境界がどこにあるのかわからないほどの一体感を呈している。



富山市 市内電車環状線

応募者：(株)G K 設計



富山市のまちづくりにおいては、今後の人口減少と超高齢化に備え、「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の実現を目指すこととした。

県道富山高岡線、大手モール、平和通りという特性の異なる3路線にまたがる整備に統一性を持たせるため、トータルデザインによるコントロールのもと全体のデザインが進められ美しい街並みが整備された。



博多駅博多口駅前広場

応募者：(株)アービカルネット



新駅前広場整備にあたっては、九州・アジアの玄関口にふさわしい、福岡・博多の魅力を象徴するような空間づくりが目指された。交通処理のみに特化した今までのような駅前広場ではなく、街の賑わいの核となり、街の文化を育むような、市民のための広場を創造することが目標となった。

市民のための広場を創り出すために、2つあった車両空間（タクシールール等）を集約して歩行者のための空間とし、また地下街への階段や換気口についてはできるだけ集約化を図った。



撮影：内藤正美

■ ブロック賞

東京地下鉄のサインシステム

応募者：アール・イー・アイ(株)



東京メトロの新サインシステムでは、表示の視認性向上、路線シンボルや駅番号を用いた簡潔な表現、案内内容と掲出場所のさらなる整理などを主軸に、わかりやすさの向上を図った。

デザイン検討の重要視点として、高齢者や障害者を含む従来の利用者に加え、海外や地方からの観光客、美しい都市東京を求める生活者の3つをとらえ、利用者の視点でシステム基準を造り上げた。

続いて都営地下鉄も同様のサインシステムを導入した。サインの共通化は利便性を高めるものである。



渡名喜島 村道1号フットライト

応募者：琉球ブロック



渡名喜島は集落のほぼ全体が重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、さんごの石垣とフクギの屋敷林で囲まれた木造赤瓦のまちなみがよく残っている。

その「渡名喜村伝統集落しまおこし事業」の一環として、2000年～2005年にかけて取り組んだのが村道のフットライト事業である。周囲を海に囲まれた渡名喜島は満天の星が評判なことから、集落内からも美しい星空が見え、同時に夜間の安全性も確保できることを目的に、これまでの防犯灯をフットライトに改善整備した。



小松駅前西口・東口広場

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング



小松駅周辺地域を対象とした「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」における、小松駅の東西駅前広場を自由通路でつなぎ利便性を図ると同時に、新しい小松の顔を想像する再生計画である。

「ふるさとの顔づくり」のテーマである、多様な人々が触れ合う生活文化の拠点“アーバン・オアシス”の核となる西口駅前広場は、小松市の地域文化を象徴するランドマーク施設として、雪吊りを模した「光のリング」を設置し、単なる交通広場にとどまらず、市民の憩い、アクティビティの場となることを目指している。



審査員特別賞

Crystal (クリスタル)

応募者：TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE



本製品「Crystal」は、ハイクラスマンションの中庭（公開空地）に設置することを目的にデザインされた特注品である。当該マンションには数多くのアートワークが設置されており、本製品もアートコレクションの一部として計画された。

全体の形状は、アートとして形態的な魅力を持った形状になるように、アートワークディレクターとの綿密なやりとりを経て決定された。切る、曲げる、溶接する、というシンプルな製造方法で作っているが、日光を受け、様々な陰影の調子を生み出す多面体とした。



耐震地下駐輪場エコサイクル

応募者：(株)技研製作所



エコサイクルは、「地上に文化を、地下に機能を」というコンセプトのもと、永年にわたり培ってきた圧入技術の粋を集めて完成させた、全自動機械式の耐震地下駐輪場である。地下躯体と搬送装置をパッケージ化した画期的な商品で、目的地の直近に設置することで、利便性の高い駐輪場を実現するエコサイクルは、歩道や広場から迷惑駐輪車両を一掃し、地上にはアメニティ溢れる文化的な空間を創り出す。

エコサイクルの躯体は、施工時の手順を逆にたどり杭を引抜くことで容易に原状回復でき、また引抜いた杭材も異なる機能に再利用できる。



軽井沢レイクガーデン

応募者：(有)ユー・プラネット



開発から50年が経過した南軽井沢の別荘地「レイクニュータウン」の活性化と新たなリゾート景観づくりを目的に、別荘管理会社である(株)レイクニュータウンが自社敷地内の調整池（レマン湖）及び湖畔区域の改修を計画した。

レイクガーデンの工事は(株)レイクニュータウンが自社の建築部門である子会社や地元の造園業者、バラや宿根草の専門家、石積施工業者とともにほぼ自前で施工している。そのため開園以来毎年何かしかの改修工事を実施しており、「ガーデンは常に変化し続ける」というコンセプトを大切にしている。





しあわせな風景×デザインJAPAN
JUDI 20th Anniversary

第1回 JUDI パブリックデザイン賞 作品募集

表彰対象

都市環境デザインやパブリックデザインの質の向上に寄与した製品や空間を、JUDI 都市環境デザイン会議が、第1回 JUDI パブリックデザイン賞として表彰いたします。自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■舗装、照明、柵、緑化、ストリートファニチャー等の製品
(既製品、標準品、特注品等幅広く対象とします)

■ポケットパーク、歩行道、施設内空地等の空間

※なお、表彰の対象は実際に施工事例があるものとします。

JUDI パブリックデザイン賞	大賞	製品部門、空間部門	各1点 (計2点)
	製品賞		4点程度
	空間賞		4点程度
	ブロック賞		4点程度
	特別賞		4点程度

応募方法

応募書類をダウンロードし必要事項をご記入の上、下記の宛先に郵送して下さい。

■ダウンロード先 URL : <http://www.judi.gr.jp/>

■郵送先

〒113-0033

東京都文京区本郷2-35-10 都市環境デザイン会議
第1回 JUDI パブリックデザイン賞 募集係

受付期間

平成23年1月5日～平成23年7月31日 (当日消印有効)

(東日本大震災に伴う諸事情により受付期間を変更しました)

結果発表

平成23年9月 (予定)

表彰式

平成23年10月8日 (2011年都市環境デザインモニターメッセにて表彰式を行う予定)

賞品

賞状及び記念品

後援

国土交通省、経済産業省、(財)都市づくりパブリックデザインセンター、TDA (予定)

主催 : JUDI 都市環境デザイン会議 事業委員会

お問い合わせ : Tel 03-3812-6664 E-mail judi@japan.email.ne.jp

■応募要項

第1回 JUDI パブリックデザイン賞 募集要項

1. 趣旨

都市環境デザイン会議 (JUDI) は、本年 (2010 年) をもって設立 20 周年を迎え、1993 年から始まったモニターメッセも 19 回を数えます。その間に発表された製品等は 240 例余り、参加企業数も 70 社近くに上ります。また、2007 年からは「ポストモニターメッセ」を開催し、参加企業からは好評を受けております。

この間、都市デザインや景観に対する社会的な関心が高まる一方で、社会や経済環境の変化に伴い、国や自治体のまちづくりや景観事業も減少し、関連する製品メーカー、施工業者も厳しい状況にあります。

このような中で、都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に貢献している企業・団体等の活躍を社会に広め、もってその取組みを支援することを目的に、その活動や実績を表彰する「JUDI パブリックデザイン賞」を創設いたしました。

第1回目は、2011 年 1 月から募集を開始し、6 月の都市環境デザインモニターメッセで表彰式を行う予定です。また、第2回目以降は3年に1回のトリエンナーレ方式で開催する予定です。

2. 表彰対象

① 都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に寄与した以下のものとします。

- 1) 製品部門：舗装、照明、柵、緑化、ストリートファニチャー等の製品 (既製品、標準品、特注品等、幅広く対象とする)
- 2) 空間部門：ポケットパーク、歩車道、施設内空地等の空間

② 表彰の対象は実際に施工事例があるものに限定します。

③ 賞の種類は以下の通りです。

- ・ JUDI パブリックデザイン賞 (大賞) : 製品部門、空間部門各 1 点 (計 2 点)
- ・ 製品賞 : 4 点程度
- ・ 空間賞 : 4 点程度
- ・ ブロック賞 : 4 点程度
- ・ 特別賞 : 4 点程度

3. 応募条件等

① 応募要件

- 1) 対象
 - ・ 製品部門：都市環境、景観、パブリックデザイン等に関わる施設、装置、道具等の単体の製品
 - ・ 空間部門：製品を施工して整備・形成した空間
- 2) 対象の竣工時期
過去 20 年以内に製造、施工実績があるもの。
- 3) 対象の所在地
公共性の高い場所に施工された製品、空間 (公共空間、民間敷地等は問いません)
- 4) その他 (応募にあたって必要な事項)
 - ・ 製品等の概要 (製品の製造者、施主 (発注者)、施工時期)
 - ・ 計画、設計者
 - ・ 管理状況 (管理者、補修の有無、応募企業の関与)
 - ・ 出席製品、空間の概要 (計画図、現場写真 (竣工当時、現在) 等)
 - ・ 製品開発又は空間整備の背景、狙い (開発当時の問題・課題とそれに対する工夫等)

② 応募資格

- 1) 応募者
どなたでも応募できます。
- 2) 推薦者
応募者以外の意見を聞く観点から、以下のいずれかの条件を満たす JUDI 会員の推薦を得

て下さい。

- ・ 応募製品を用いて計画、設計した経験がある。
- ・ 応募空間の計画、設計に携わった経験がある。
- ・ 応募製品の開発に関わった。
- ・ 応募製品または応募空間を見たことがある。

※ JUDI 会員、協力法人、過去に都市環境デザインモニターメッセに出展経験がある企業が応募する場合には、JUDI 会員の推薦は必要ありません。

4. 応募手続き

- ① 提出書類
応募申込書 (JUDI ホームページからダウンロードし、データと印刷物を提出して下さい)
* 応募申込書は Microsoft Word 形式です。
* 応募申込書への記入 (文字入力、図面、写真等の貼り付け等) はこのファイル上で行って下さい。
* 記入したファイルを記録した CD-R と印刷物 (1 部) を提出して下さい。
* 選集掲載用画像データ (JPEG 形式) で上記 CD-R に格納して下さい。
* 提出ファイル名は、「PD 賞応募_提出者名 (企業名) として下さい。
- ② 提出方法
郵送のみとします。(提出期限は「5. スケジュール」を参照)
- ③ 郵送先
〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-35-10 都市環境デザイン会議
第1回 JUDI パブリックデザイン賞 募集係

5. スケジュール

- ① 受付期間
平成 23 年 1 月 5 日～7 月 31 日 (当日消印有効)
- ② 審査期間
平成 23 年 4 月～5 月
- ③ 結果発表
平成 23 年 5 月予定 (応募者にメールで通知、JUDI ホームページに掲載)
- ④ 表彰式
平成 23 年 10 月 8 日
同日開催予定の 2011 都市環境デザインモニターメッセにて表彰式を行います。

6. 選考料等

- ① 選考料
1) JUDI 会員、協力法人が応募する場合 : 5,000 円
2) 過去にモニターメッセに出展した企業が応募する場合 : 5,000 円
3) その他の企業が応募する場合 : 20,000 円
(受付確認後、メールにて郵便振込口座番号をお知らせいたしますので、選考料を振込こんでください。なお振込手数料はご負担いただきます)
- ② 受賞選集掲載料
20,000 円 (受賞者にご負担いただきます。審査後、受賞者にメールにて郵便振込口座番号をお知らせいたしますので、受賞選集掲載料を振込こんでください。なお振込手数料はご負担いただきます)

7. 後援
国土交通省、経済産業省、(財) 都市づくりパブリックデザインセンター、TDA 等の後援予定
以上

■応募用紙

第1回 JUDI パブリックデザイン賞応募用紙

* 太枠の中に記入して下さい。

応募作品の概要

(ふりがな) 作品名 (製品名、施設名等)	()		
(ふりがな) 所在地 (施工箇所の住所等)	()		
応募部門	製品部門 / 空間部門	エントリー時 の受付番号	

連絡担当者

(ふりがな) 氏名 (姓/名)	()		
連絡先	住所		
	所属 (部署名まで記入)		
	TEL		
	FAX		
	E-MAIL		

主な関係者に、JUDI 個人会員が含まれる * 該当する方に○を付けてください。	はい	いいえ
(上記「いいえ」の場合) 推薦を受けた JUDI 会員名		

■申込書

作品諸元

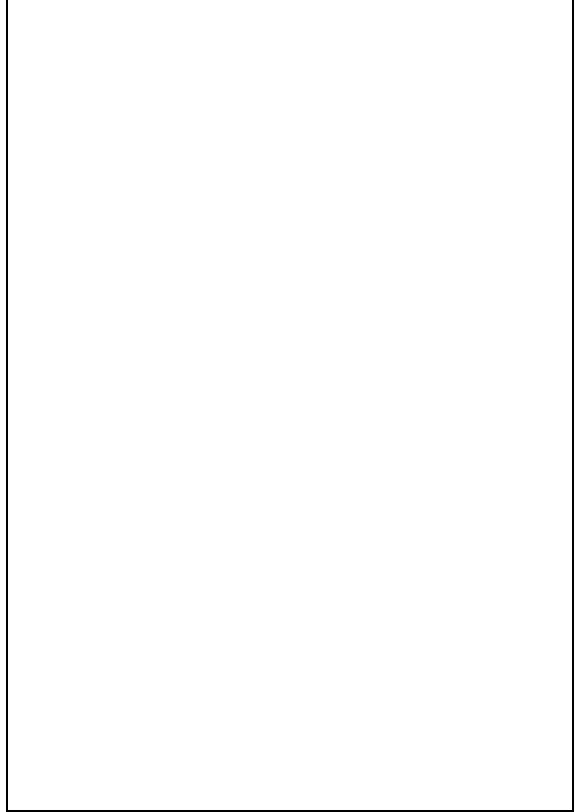
作品名 (製品名、施設名等)	()		
(ふりがな) 所在地 (施工箇所の住所等)	()		
作品の概要	製造者		
	発注者		
	計画・設計者		
	施工者		
竣工年月日		西暦	年 月 日
管理状況	管理者		
	補修の有無、 補修の概要		
	応募者 (企業) の関与		

作品（製品、空間）の計画図等 * 平面図、立面図等、作品の概要が分かるものを添付



※このページは2枚まで提出可

現場写真（竣工時・現在） * 竣工時、現在（近年）の写真を添付。補修済みの場合はその状況もわかる写真も添付。



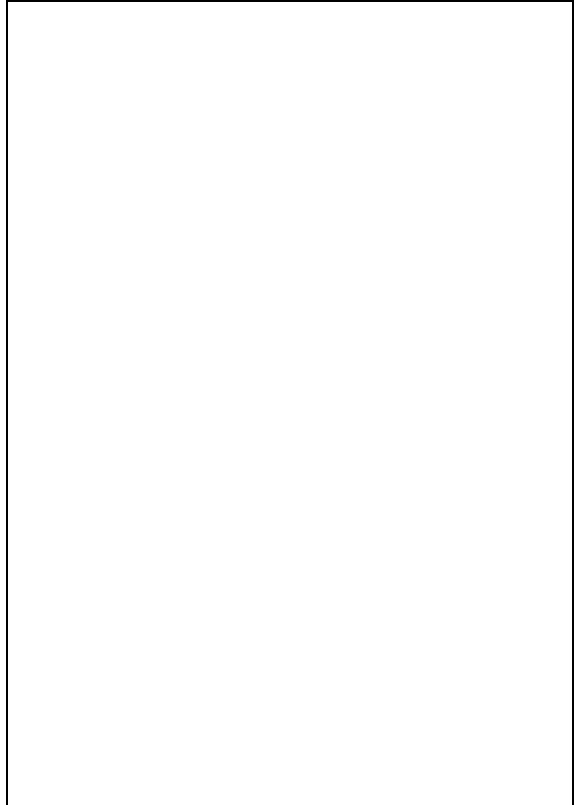
※このページは2枚まで提出可

製品開発、空間整備の背景と狙い（開発、計画、施工当時の問題・課題とそれに対する工夫、苦労話等）



※このページは2枚まで提出可

関連資料・写真添付欄 * ここまでに紹介できなかった図面、写真等を貼っていただいても結構です。



※このページは2枚まで提出可